

# 光が丘デジタルアーカイブ 開設報告会 2023.3.26

光が丘歴史博物研究会 立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科M2 菅原みどり

## 自己紹介など

### 菅原みどり (Midori Sugahara)

北海道釧路市出身、2015年より練馬区高松在住

京都芸術大学芸術教養学科卒業(2021.3)

立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科博士前期課程、学芸員課程

大学卒業研究「光が丘6丁目における景観・コミュニティのデザイン」

→光が丘に強い興味をもつきっかけ

→COVID-19による「自粛期間」、地域資料へのアクセス悪化

→デジタルアーカイブを学ぶきっかけ、大学院進学、宮本聖二ゼミへ

準デジタルアーキビスト(2020)、デジタルアーカイブクリエイター(2023)





## なぜ「光が丘デジタルアーカイブ」？



### ①歴史的に特異性のある光が丘地域

→農地～特攻隊の飛行場～米軍家族宿舎～公園と団地と商業地の現在

### ②建物老朽化等により、地域全体が今後また大きく変化する可能性

→約12,000戸の共同住宅、軒並み築35～40年

### ③地域住民が光が丘の歴史を知る機会が少ない

→団地内は完成後に移り住んだ人が中心、高齢化、学校教育など

## なぜ「光が丘デジタルアーカイブ」？

地域資料は、地域の歩みを後世に伝えるための、共有のかけがえのない財産である。

地域資料を保存し伝えていくことは、「知る権利」や「後世への説明責任」に応えることにつながる。

それは誰もが地域の歴史に触れ、未来の在り方について考える機会を守ることである。

地域住民が自分たちの手でアーカイブ活動を行なうために「デジタルアーカイブ」は有効ではないか



## 東京都練馬区「光が丘」とは

江戸時代以前 → 「畑」、「野」の表記

1871(明治4)年 → 田柄用水の完成、稲作

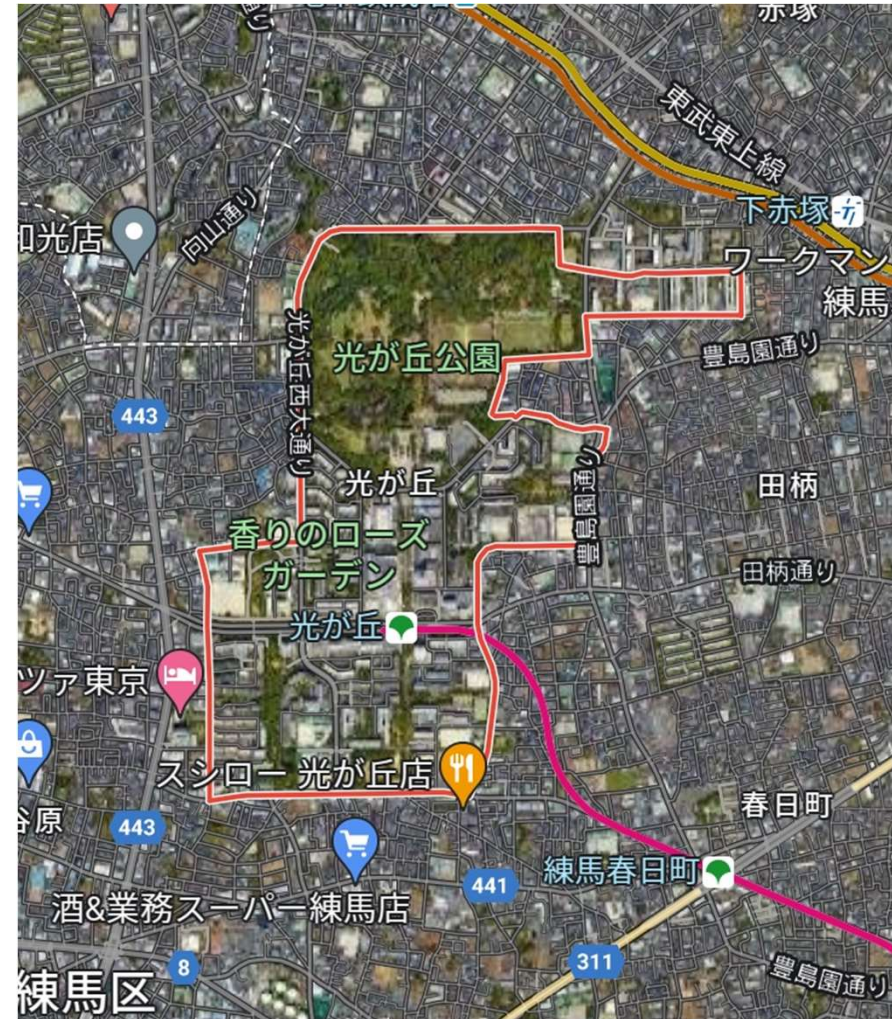
1943(昭和18)年 → 成増飛行場完成

1948(昭和23)年 → グラントハイツ完成

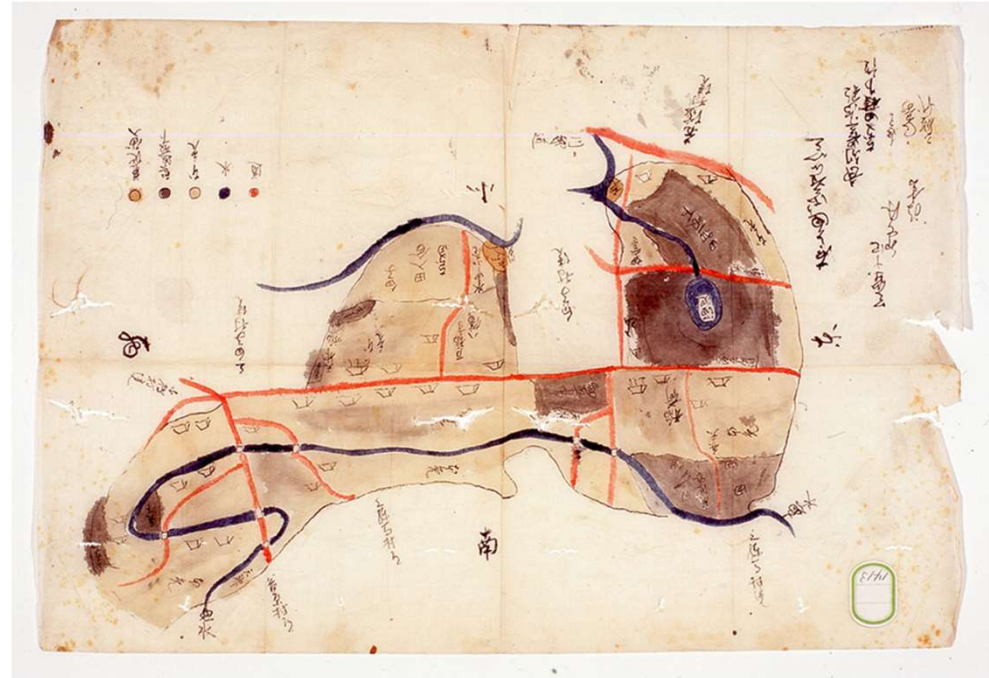
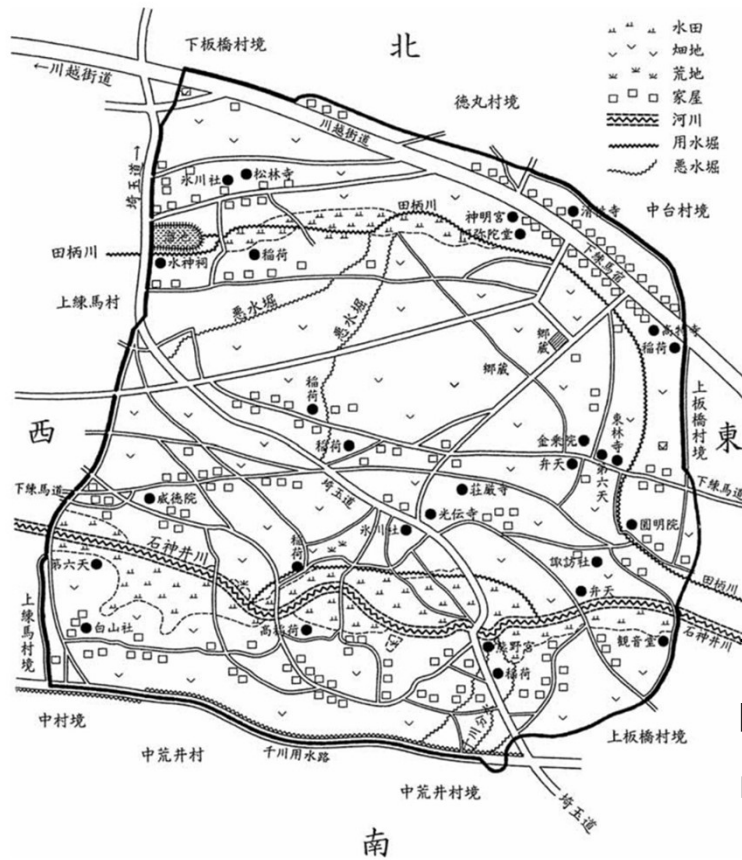
1973(昭和48)年 → グラントハイツ全面返還

1983(昭和58)年 → 光が丘地区入居開始

→ 団地と公園のまち、築約40年経過



# 江戸・明治の光が丘



土支田村下組絵図(1833・天保4年)

「小島家文書絵図」

練馬区立石神井公園ふるさと文化館

下練馬村下組絵図(翻案図)

『改訂増補 光が丘の地歴図集』

山之内 光治 2007年





「成増飛行場」 1944(昭和19)年 練馬区

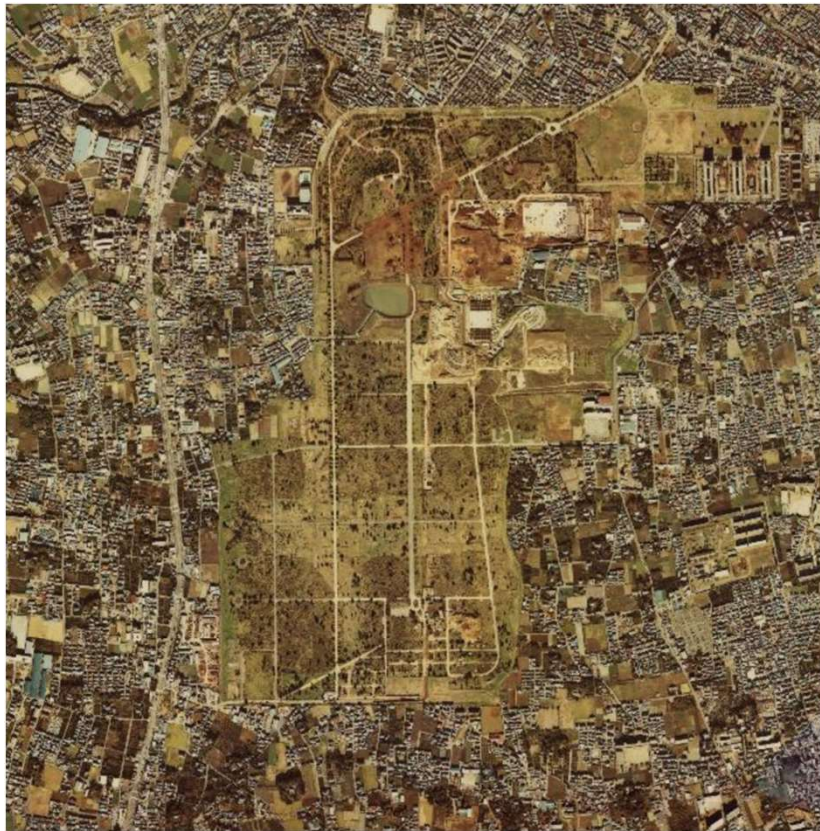
## 成増飛行場・グラントハイツ

「グラントハイツ」 撮影時期不明 練馬区





## 「光が丘」の完成まで



1980年頃 国土地理院



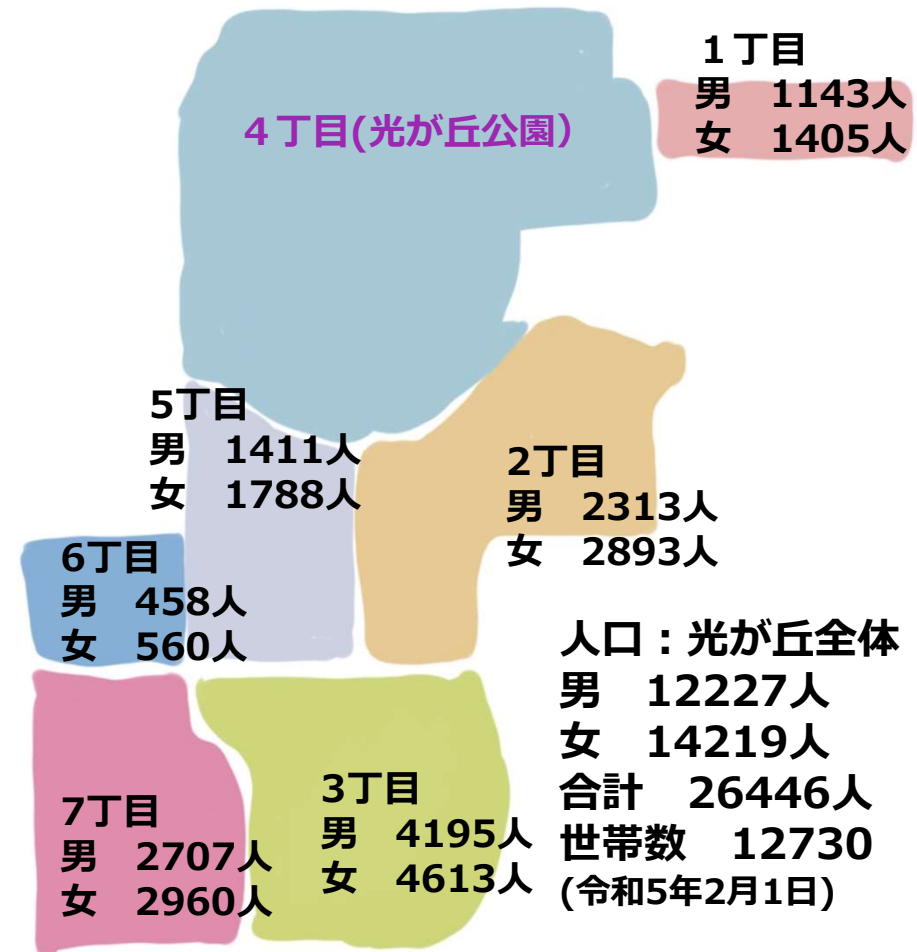
1985年頃 国土地理院

## 現在の「光が丘」

地域全体が今後また大きく変化する可能性

### ■光が丘パークタウン(光が丘団地)

- ・ 12700戸、26400人が住む
- ・ 1983～1992年に光が丘パークタウン入居完了  
→築約30～40年、新耐震基準を満たしている
- ・ 大規模修繕工事など(外壁の色変更ほか)
- ・ 病院、清掃工場は老朽化等により建替え、移転



## 地域歴史文化資料の現状

### ・利用者から見て、資料はどこにある？

図書館、博物館、公文書館、役所、公民館、学校、個人宅…

→アクセスへの物理的・心理的ハードル、検索等の「スキル」

インターネット上の資料(wikipedia、ブログ等)

→匿名性による信ぴょう性の低さ、資料の削除

…簡便、正確、平等が求められる



## 地域歴史文化資料の現状

### ・博物館は、資料をどうしている？

「学芸員は、博物館資料の収集、保管、展示及び調査研究その他これと関連する事業についての専門的事項をつかさどる（博物館法第4条）」

ミュージアムに収蔵された資料の「保存」も学芸員の本来的な仕事とされている

収集

保管

調査研究

展示公開

資料に対する  
博物館(学芸員)の  
基本的な役割

## 地域歴史文化資料の現状

### ・資料の長期保全

重要文化財に限らず、各地域、個人宅に収蔵されている古文書やモノ資料  
(民具など)の保全

→増え続ける資料、収蔵庫や管理維持コストの問題

→「それ」だけでは用途不明で意義がわからないなどの問題

→阪神淡路大震災や東日本大震災などで「保全」の対応へ関心高まる

## 地域歴史文化資料の現状

### ・資料の展示公開（デジタルアーカイブの視点で）

「各地の郷土資料など、特定の場所でしか知られていなかった資料をデジタルアーカイブで公開することにより、広く利用される可能性が高まります。資料の利用が増加するとその価値が広く認識され、ひいてはその資料が根ざす地域の活性化や観光の促進にもつながると考えられます。」

（総務省「デジタルアーカイブ構築・運用のガイドライン」より抜粋）

→著作権や肖像権といった問題

→COVID-19感染拡大防止のため、モノ資料へのアクセスが困難に

→ミュージアム等のデジタルコンテンツが充実し始めるきっかけにも



## 「デジタルアーカイブ」とは

### ・ アーカイブとは

「アーカイブ」の元来の意味は、古文書・記録文書類または公文書の保管所、公文書館。アーカイブ (archive) とその複数形のアーカイブズという言葉が一般的に使われる。

公共性や文化的な価値が高く、将来にわたって保存する価値のある資料を記録し、保存することであり、さらに、その保存場所や保存機関のことを指す。

引用：特定非営利活動法人日本デジタルアーキビスト認定機構「デジタルアーカイブとは」  
<https://jdaa.jp/digital-archives>

# 「デジタルアーカイブ」とは

## ・デジタルアーカイブとは

「デジタルアーカイブ」はデジタル技術を用いて作成されたアーカイブという意味の造語。「図書・出版物、公文書、美術品・博物品・歴史資料等公共的な知的資産をデジタル化し、インターネット上で電子情報として共有・利用できる仕組み。

対象は、公的な博物館、図書館、文書館の収蔵資料だけでなく、自治体・企業等の文書・設計図・映像資料などを含め有形無形の文化・産業資源など多岐に渡る。また、完成されたものだけでなく、そのプロセスに関する資料も対象となる。

デジタルアーカイブは、これらを収集し、デジタル方式で記録し、データベース技術を用いて保存、蓄積し、ネットワーク技術を用いて検索を可能にして、継続的に活用することである。蓄積したデータは、研究や学習支援、地域の振興、防災、経済の発展、新たなコンテンツの創作等への活用が可能となることから、デジタルアーカイブは知識循環型社会の社会基盤として重要視されている。

引用：総務省「デジタルアーカイブ構築・連携のためのガイドライン」  
[https://www.soumu.go.jp/main\\_content/000153595.pdf](https://www.soumu.go.jp/main_content/000153595.pdf)

特定非営利活動法人日本デジタルアーキビスト認定機構「デジタルアーカイブとは」  
<https://jdaa.jp/digital-archives>

## 「デジタルアーカイブ」の例

### ・ ジャパンサーチ

<https://jpsearch.go.jp/>

多様な分野のデジタルアーカイブサイトと連携し、国内保有の多種多様なコンテンツのメタデータを横断的に検索可能なポータルサイト。

テーマ別検索、画像検索の機能、簡便で横断的な検索、コンテンツ利用に対する権利標記の明確さ

他のアーカイブサイトではなかなか見られない機能「ギャラリー」「マイノート」

地域のアーカイブ機関との連携拡大などが課題



## 「デジタルアーカイブ」の例

- ・ 練馬区歴史資料デジタルアーカイブ

<https://j-dac.jp/nerimakurekishi/>

「練馬区史」を、本文のフルテキスト化も含めてデジタルアーカイブにしている。単語から「練馬区史」内のテキスト検索が行なえる。

- ・ 練馬わがまち資料館

<https://www.nerima-archives.jp/>

オープンデータ画像あり(解像度80dpi程度JPEG画像94枚、2023.3.25閲覧時)

練馬区史Excelのダウンロード可

練馬区が発行した資料の閲覧が可能

## デジタルアーカイブ学会

<https://digitalarchivejapan.org/>

- ・ **デジタルアーカイブ憲章（最終案）2023.3.14シンポジウム**

<https://digitalarchivejapan.org/wp-content/uploads/2023/02/DA-Charter-ver-20230314.pdf>

「公共的知識基盤の必要性」 「社会にとっての記憶する権利」  
「デジタルアーカイブの社会的役割」

## 光が丘歴史博物研究会の活動・研究

2021.4.1 (立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科博士前期課程、学芸員課程入学)

2021.5.18 「光が丘デジタルアーカイブ」 SNSを開設

2021.7頃 (デジタルアーカイブ学会入会)

2021.12.19 第1回 DA フォーラム 発表

2022.6.26 第2回 DA フォーラム 発表

2022.10頃 (デジタルアーカイブ学会地域アーカイブ部会事務局に)

2022.12~2023.1 「実践講座①地域資料活用によるキュレーション講座」 参加

2022.2 「実践講座②地域資料のデジタルアーカイブ化講座」 参加

2023.1.28 「光が丘デジタルアーカイブ」開設

2023.3.24 (学芸員課程修了)



光が丘  
デジタル  
アーカイブ



## 光が丘歴史博物研究会の活動・研究

提供いただいた画像、映像や  
オーラルヒストリー等の収集

収集

資料のデジタル化、  
目録作成、複製の作成、保存

保管

調査研究

展示公開

資料の年代や場所の特定、  
デジタルアーカイブに関すること

資料の公開、  
テーマに合わせた「展示」

# 光が丘歴史博物館研究会の活動・研究



光が丘デジタルアーカイブ  
@D.A.Hikarigaoka · ローカルウェブサイト

+ ボタンを追加



## SNSでの活動

Twitter : @hikarigaokada

TwitterURL :

<https://twitter.com/hikarigaokada>

FacebookページURL :

<https://www.facebook.com/D.A.Hikarigaoka/>

2021年5月18日(国際ミュージアムデー)に開設。活動PR、連絡窓口の場合日に1度ペースでの更新

※資料公開の場はSNSではない



## コロナ禍の光が丘を記録(終了?)

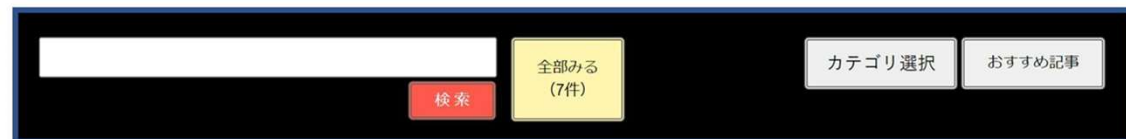
クラスターが発生したり、屋外駐車場にPCR検査用プレハブ小屋を建てた光が丘病院や「夏祭りや新年交流会など町会行事が開催できない中、こののぼりだけでも楽しんでいただければ」と掲揚された光が丘6丁目のこののぼりなど。

## 「光が丘デジタルアーカイブ」開設(2023年1月28日)

<https://d-commons.net/hikarigaoka>



前川道博先生(長野大学)より、分散型地域デジタルコモンズクラウドサービス d-commons.netを使わせていただき開設。



### 新着記事



## 地域の方に投稿してもらいました

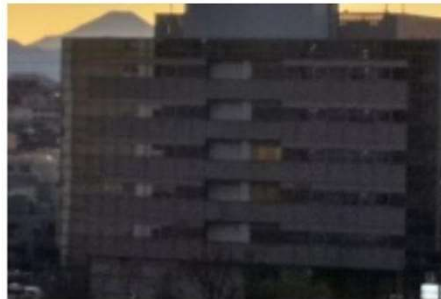
地域の男女2名に協力いただき、実際に口頭で説明しスマホから投稿をしてもらう。

- 「スマホ画面に対応して、見やすく操作が簡単だと良い」  
 「Exifを利用するなど、メタデータ管理が簡単になると良い」  
 「写真の年代についてプルダウン機能など選択肢がほしい」  
 等の意見をいただく(2023.2.17)。

### 新着記事



光が丘から見える雪化粧した富士山



光が丘から見える富士山



6丁目団地 大規模修繕



春の風公園紅葉 2022



## 「光が丘デジタルアーカイブ」サイトの課題

光が丘  
デジタル  
アーカイブ

### ①投稿のハードルを下げる

- ・スマホからの投稿は文字の大きさや操作性からも対応したい
- ・年代の設定、ハッシュタグを選択可能(候補が出るなど)にしたい
- ・Exifに対応するため、当面は画像をメール等で別に送ってもらう

### ②広く知ってもらう

- ・地域コミュニティへのお願い、SNSなど
- 現在投稿は即反映されるが調整を検討する



## 今後の活動計画



光が丘  
デジタル  
アーカイブ

### ①「光が丘デジタルアーカイブ」運営

- ・ 投稿についての**マニュアル**(webサイト内、紙、動画) を制作する
- ・ 検索補助資料として通常の年表に光が丘に関する**年表**を加えて作成、公開
- ・ 投稿者を増やす、資料の充実をはかる

### ②地域での勉強会、ワークショップ

- ・ 「光が丘デジタルアーカイブ」を通じて「デジタルアーカイブ」(ネットリテラシーや著作権・肖像権についても触れる) を扱う地域ワークショップを行なう(2023.3.26第一回、今回)
- ・ 勉強会やワークショップを通じて協力者や資料を収集していく

## 今後の活動計画

光が丘  
デジタル  
アーカイブ

### ③ グラントハイツ返還50年イベント（2023.9.30までに）

- ・ 10代から高齢者まで、光が丘在住者のほか、光が丘に興味やご縁のある方（会場・設備次第で人数決定）
- ・ オンライン参加可能にするかは未定、動画記録を後日全体公開
- ・ トークイベント・座談会をメインに、①「光が丘デジタルアーカイブ」に触れるところまで
- ・ 市民活動として「光が丘」の歴史を振り返る、知る、それをきっかけに学びやコミュニケーション、つながりが生まれる といいなあと考えている

ありがとうございました。  
「光が丘デジタルアーカイブ」を  
引き続きよろしく願いたします。

★いつでもご連絡ください★  
「光が丘デジタルアーカイブ」  
光が丘歴史博物研究会

<https://d-commons.net/hikarigaoka>

Mail: hikarigaokada@gmail.com

Twitter: @hikarigaokada

TwitterURL: <https://twitter.com/hikarigaokada>

FacebookページURL: <https://www.facebook.com/D.A.Hikarigaoka/>

菅原まで



# アンケートに ご協力ください

<https://forms.gle/nYqua3mtvG9aY9YA8>

光が丘  
デジタル  
アーカイブ

